

質問回答

2018年12月7日

スリランカ国国道土砂災害事業対策フェーズ2準備調査.

(公示日:2018年11月28日/公示番号:180435)について、質問の回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書第2章6.(3).② NBRO 作成の斜面对策及び法面保護ガイドライン(技術指針)に基づき、過去10年の被害状況を踏まえた、8県のリスクアセスメント(地質、災害発生率、経済性等に基づく実施)を実施する。(P.16)	NBRO 作成の斜面对策及び法面保護ガイドライン(技術指針)が添付資料として配布されていないため、作業量の見積もりが困難です。特定の業者のみが入手しうる資料は、競争の公平性を欠くのではないのでしょうか。 また、この項目の前項目では8県53サイトに対して災害分析を実施するとありますが、この項目では8県のリスクアセスメントとあります。これは、8つの県に対するリスクアセスメントと解釈してよいのでしょうか。	当該項目は、以下のとおり訂正致します。 ②Guidelines for Construction in Landslide Prone Areas (Centre for Housing Planning and Building, March 2003)や The Manual for Landslide Monitoring, Analysis and Countermeasure (NBRO and JICA DiMCEP, January 2013) を参照し、過去10年の被害状況を踏まえた、8県(要請箇所)53サイトのリスクアセスメント(地質、災害発生率、経済性等に基づく実施)を実施する。 上記、参照資料は、「企画競争説明書等配布依頼書」をご提出の方に限りGIGAPODにて追加配布致します。
2	業務指示書第2章6.(6)対策工事の提案及び工程の作成(P.17)	第一段落の最後に、「(工程については、必ず複数と比較検討するとともに、クリティカル・パスを明確にすること。)」とあります。この「比較」について、どのように考えるべきかを確認させてください。 通常であれば、この「比較」は対策工案に関して比較する、ということになり、この場合、対	工程の比較検討の目的は、「経済性優先の工程(標準的なパーティー数、標準的な工場製作期間等)」と「早期完成優先の工程(追加パーティーの投入、工場製作期間の短縮等)」の双方を比較することで、コスト・工期のバランスの取れた工程を選定することです。 そのため、工程の比較検討については、

		<p>策工案毎に工程を作成し、その優劣も論じる、ということになると思います。</p> <p>他方、同じ段落の（ ）の前には、「最適と評価された対策工事については、仮設を含めた施工計画及び工程の作成を行う」とあります。つまり、工程の作成は「最適」と評価された対策工に対して行うと解釈できます。従い、最適と評価された対策工 20 か所の仮設計画・工程計画を複数作成し、クリティカル・パスを検討する、と読むことができます。とすると、工程の比較は主に仮設のタイプによってなされると解釈できます。</p> <p>上記に関して、貴指示書の意図を確認できれば幸いです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の対象サイト候補ごとに、 ・ 最適と評価された対策工事について、 ・ 仮設のみではなく、本体構造物を含めた工程全体(着工から完成まで) <p>について、実施頂くこととなります。</p>
3	業務指示書第2章7.(2).オ)デジタル画像集 (P. 25)	本事業実施前と円借款による事業後の対比ができる写真のサイト数は、20 サイトと解釈してよいでしょうか。	業務指示書第2章6.(4).③の業務にて約20 サイトにつき詳細調査を行った後、最終確定した本事業の対象サイト候補(調査結果により数は変動)についての現場写真または映像資料を JICA へ提出して下さい。
4	業務指示書第3章2.(3)現地コーディネーター等の現地備上 (P. 27)	「コーディネーター等の現地備上に係る経費については見積りに計上すること」とありますが、別見積ではなく、内見積として計上するというのでしょうか。	ご理解の通りです。本見積として計上して下さい。

以上